



国際交流基金

<http://www.jpf.go.jp/>

PRESS RELEASE

January 16, 2007, No. 225

**日印交流年事業： 森本公誠・東大寺別当インド講演**

ジャパンファウンデーションは、日印交流年事業の一つとして、東大寺別当の森本公誠氏をインドに派遣し、以下のとおり講演会を開催します。

2007年は日印文化協定締結50周年に当たり、「日印交流年」として「仏教伝来から現代に至るまでの日印の歴史的・文化的紐帯とその発展」をテーマに様々な日印交流事業が日本およびインドで予定されており、ジャパンファウンデーションも中核的な役割を果たします。

**講演会テーマ：「東大寺と菩提僊那」**

西暦752年の東大寺では、聖武天皇が発願し、着工から7年の歳月をかけて完成した盧舎那(るしゃな)仏の開眼供養が、南インド出身の僧侶 菩提僊那(ぼだいせんな)の手により行われた。菩提僊那は当時在日16年、僧侶を監督する役所の最高責任者の地位にまで上っていた人物である。講演では、日印文化交流史を1255年遡り、菩提僊那の果たした役割に触れるとともに、古代日本における仏教思想の広まりの背景を解説する。

**日程・会場：**

2007年1月22日(月) コルカタ大学 (コルカタ)  
2007年1月24日(水) インド国際センター (ニューデリー)

**森本公誠(もりもと・こうせい) 東大寺別当・文学博士 プロフィール**

1934年姫路市生まれ。1957年京都大学文学部卒業後、61年から62年までエジプト・カイロ大学留学。京都大学より文学博士学位取得。65年から98年京都大学文学部講師。東大寺執事長、大仏殿主任、上院院主を経て、2004年より現職。

初期イスラム時代の社会経済史を専攻し、ギリシャ語・アラビア語パピルス文書とアラビア語史書を対校したエジプト税制史の研究書で1975年日経経済図書文化賞受賞。

主な著書に『初期イスラム時代エジプト税制史の研究』(岩波書店、1975)、『イブン・ハルドゥーン - 人類の知的遺産22』(講談社、1980)、『善財童子 求道の旅 - 華嚴経入法界品・華嚴五十五所絵巻より - 』(朝日新聞社、1998)、『世界に開け華嚴の花』(春秋社、2006)など。また、訳書にイブン=ハルドゥーン『歴史序説』全4冊(岩波文庫、2001)。

[http://www.jpf.go.jp/j/culture\\_j/news/0701/01-02.html](http://www.jpf.go.jp/j/culture_j/news/0701/01-02.html)

お問合せ： 文化事業部 文化企画課 担当：藤本  
Tel: 03-5562-3541 Fax: 03-5562-3505

「地球を、開けよう。」

情報センター  
〒107-6021 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル21階  
Tel:03-5562-3538 Fax:03-5562-3534